科目名：老年看護学実習Ⅲ	必修	2単位(90時間)
(Gerontological Nursing Practice Ⅲ)		

履修年次/時期：3年次　通年　　授業形態：実習

主担当教員：棚橋 泰之

主担当教員詳細：実務経験 看護師13年：実務・教育経験を活かし、老年期患者へ対して必要な看護が理解できるように指導する

担当教員名：石川 智子, 石井一義, 久世美帆, 石井玲子

学修目的	老年期にある対象者の発達段階・発達課題、加齢による変化、健康レベルに応じた看護展開を通して、対象者の生活に着目した健康の維持・増進・回復の促進のための看護について理解する。 関連するCP：CP1,CP2,CP3,CP5,CP6　　科目No. KNp-306		
この科目が目的としているDP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1)生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
		(2)医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1)教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		(2)専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
		(3)社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	○
	3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1)多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		(2)優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○
		(3)看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○
	◎：この講義・演習・実習と最も関連があるDP ○：この講義・演習・実習と関連があるDP		
到達目標	①老年期にある対象の持つ看護問題に着目し、個別性のある看護過程が展開できる。 ②立案した計画に基づき看護を実践することができる。 ③老年看護における看護師の役割を理解できる。 ④実習を通して、自己の老年看護観を深めることができる。		
授業概要	老年期にある対象者の発達段階・発達課題、加齢による変化、健康レベルに応じた看護展開を通して、対象者の生活に着目した健康の維持・増進・回復の促進のための看護について理解する。		
授業計画	(実習施設) 国家公務員共済組合横須賀共済病院、日本医療伝道会衣笠病院、聖ヨゼフ病院、済生会若草病院、関東病院 若草病院、関東病院 (実習期間) 2025年5月12日～2025年10月9日までの、いずれかの10日間で実施する。		
評価方法	老年看護学実習Ⅲの実習評価表の項目を、評価基準に基づいて点数化し、その合計点を最終評価とする。 評価に対するフィードバックは必要時、面接にて行う。		
教科書	授業で使用した教科書と授業資料		
参考書	必要時、紹介する		
オフィスアワー連絡先	在室時は調整し対応。不在時は下記メールに連絡ください。 棚橋泰之：3号館3階 研究室 tanahashi@kdu.ac.jp		